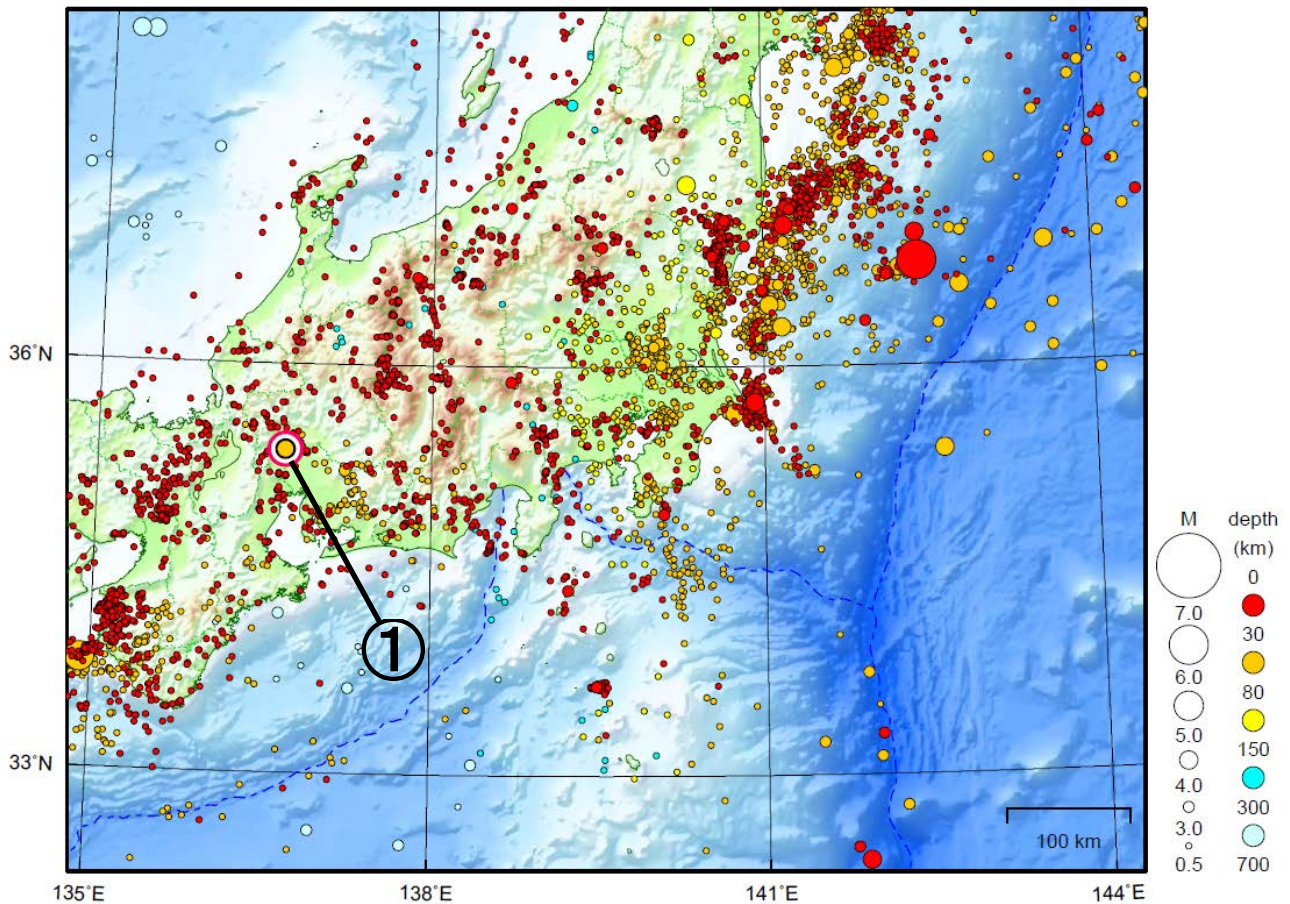


関東・中部地方

2019/03/01 00:00 ~ 2019/03/31 24:00

N=5146



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 3月9日に岐阜県美濃中西部で M4.4 の地震（最大震度 4）が発生した。

（上記領域外）

3月11日に硫黄島近海で M6.1 の地震（震度 1 以上を観測した地点はなし）が発生した。

〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

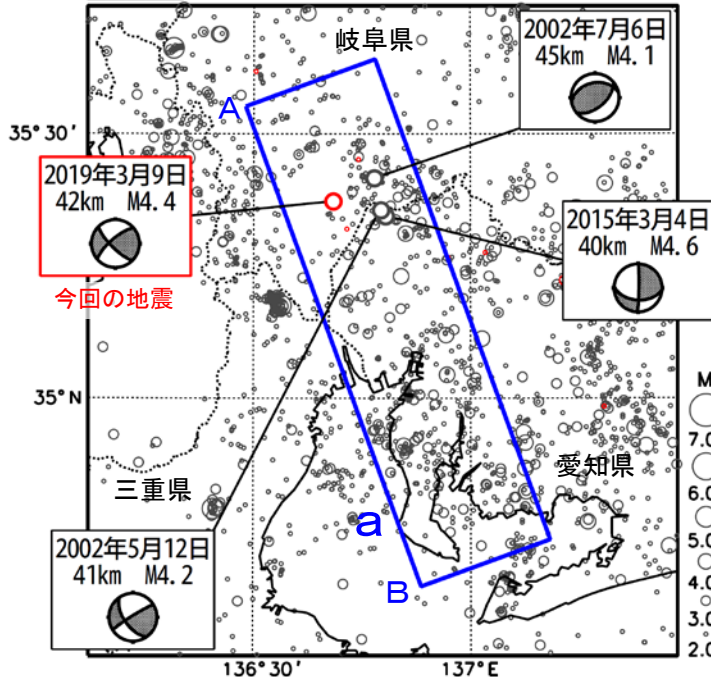
気象庁・文部科学省

3月9日 岐阜県美濃中西部の地震

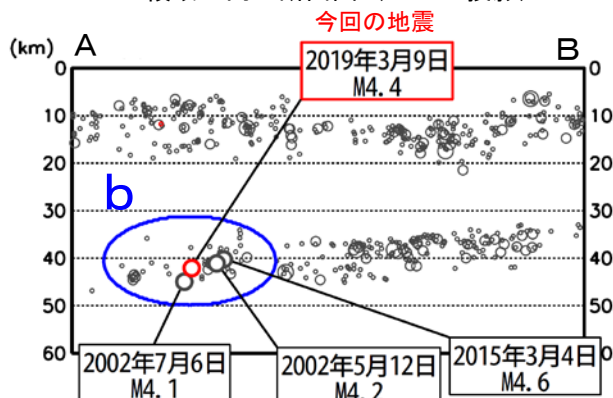
震央分布図

(1997年10月1日～2019年3月31日、
深さ0～60km、 $M \geq 2.0$)

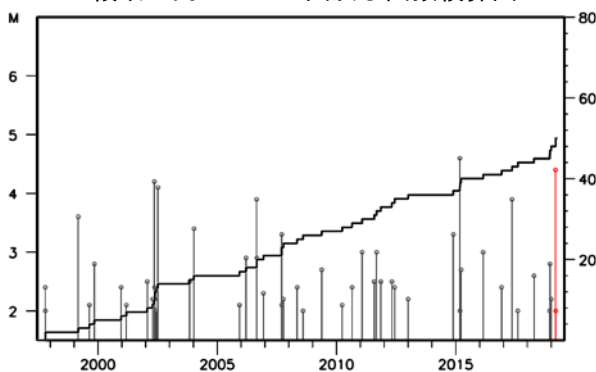
2019年3月の地震を赤く表示



領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図及び回数積算図



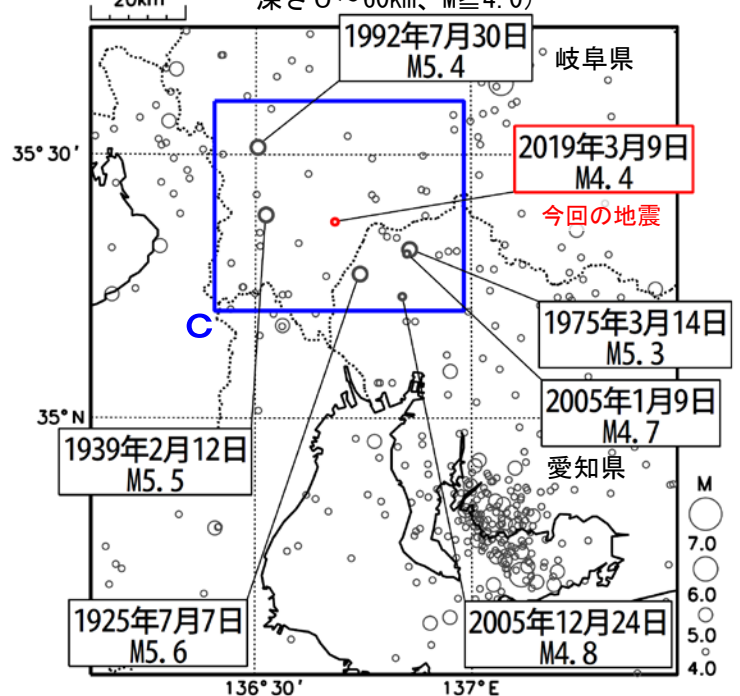
2019年3月9日01時08分に岐阜県美濃中西部の深さ42kmで $M 4.4$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は、 $M 4.0$ 以上の地震が時々発生している。2015年3月4日に $M 4.6$ の地震（最大震度4）が発生した。

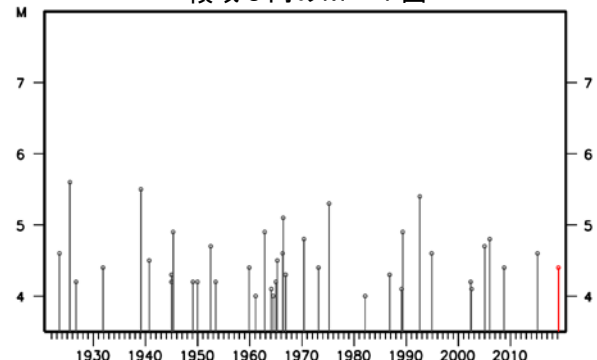
1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 5.0$ 以上の地震も時々発生している。1925年7月7日に $M 5.6$ の地震が発生し、煙突が倒れる等の被害が生じた。また、近年では2005年1月9日の地震（ $M 4.7$ 、最大震度4）により軽傷1人等、2005年12月24日の地震（ $M 4.8$ 、最大震度4）により軽傷1人の被害が生じた（被害はいずれも「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図

(1922年1月1日～2019年3月31日、
深さ0～60km、 $M \geq 4.0$)

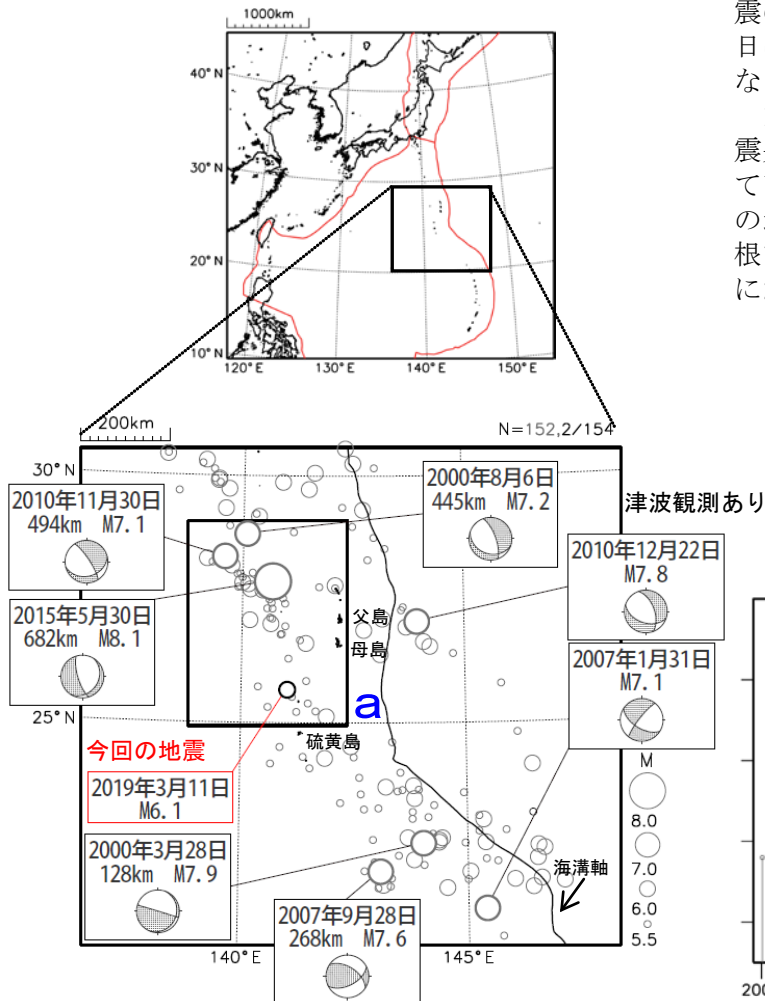


領域c内のM－T図



3月11日 硫黄島近海の地震

震央分布図
(2000年1月1日～2019年3月31日、
深さ0～700km、 $M \geq 5.5$)
2019年3月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

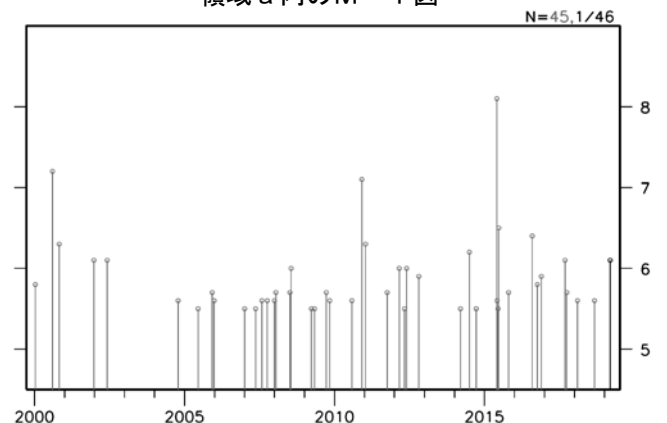


2019年3月11日18時33分に硫黄島近海で $M6.1$ の地震(震度1以上を観測した地点なし)が発生した。

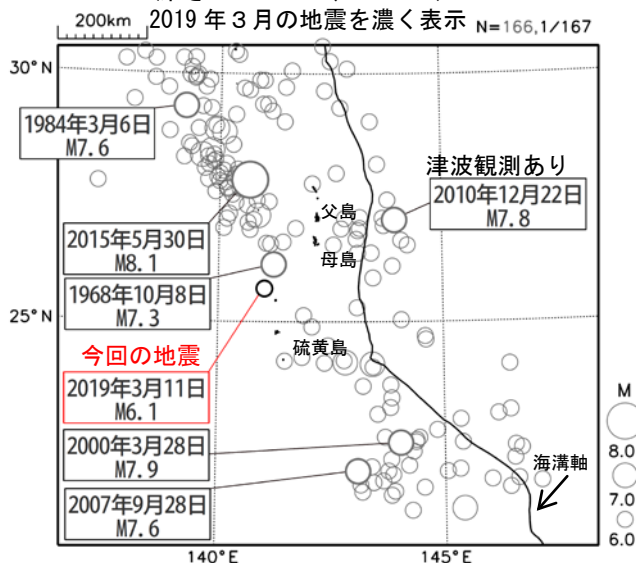
2000年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、2015年5月30日に $M8.1$ の地震(最大震度5強)が発生するなど、 $M7.0$ を超える地震が3回発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、 $M7.0$ 以上の地震が時々発生している。2010年12月22日には父島近海で $M7.8$ の地震(最大震度4)が発生し、八丈島八重根で0.5mの津波など、東北地方から沖縄地方にかけて津波を観測した。

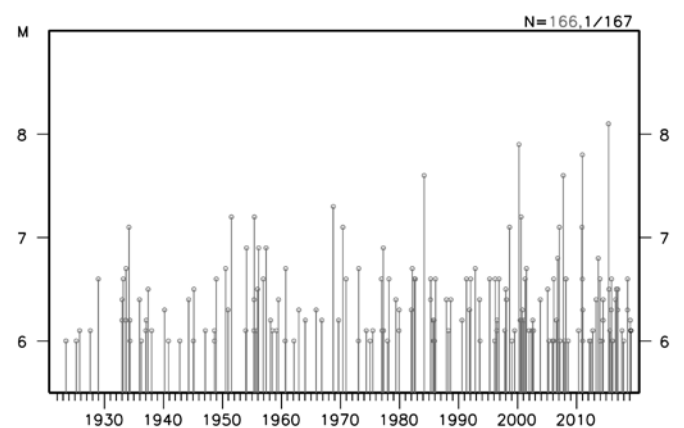
領域a内のM-T図



震央分布図
(1922年1月1日～2019年3月31日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)
2019年3月の地震を濃く表示 N=166, 1/167



左図の領域内のM-T図



※本資料中のプレート境界の位置はBird (2003) *より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

気象庁作成